

Climbers



建石寿枝

甲南大学フロンティアサイエンス研究科(FIRST) /
先端生命工学研究所 (FIBER)
[650-0047] 神戸市中央区港島南町7-1-20 甲南大
学ポートアイランドキャンパス
准教授, 博士 (理学).
専門は核酸化学, 生体機能化学.

<https://www.konan-fiber.jp/index.php>
https://www.konan-u.ac.jp/hp/dir-gb_fiber/

私は、2010年7月に甲南大学の先端生命工学研究所 (FIBER) に着任し、もうすぐアカデミア14年目を迎える。今年4月から甲南大学大学院フロンティアサイエンス研究科 (FIRST) 兼 FIBER の所属となり、いっそう、研究活動に励んでいきたいと意気込んでいる。

私の家族構成は、夫と、3人の子供 (息子：高校1年生、娘：小学6年生、息子：小学3年生) がいる。帰宅が遅くなったり、出張もある仕事なので、私は実家の近くに住み、両親に子育てを手伝ってもらいながら働いている。たとえば、今日は、朝から打ち合わせ等々があり、午後になって携帯電話を見ると小学校から着信があることに気が付いた。すでに着信から数時間が経過しており、何があったのだろうと心配になり小学校に連絡すると、息子が熱を出したので、電話したとのこと。朝は元気に見えたのに、ああ、やってしまったと思い、お迎えは必要でしょうかと聞いたところ、「お母さんと連絡がつかなかったの、おばあさんに電話して、迎えにきてもらいました」と言われてしまった。実家に電話をすると、「しんどいって言うから、病院に連れて行ったよ。溶連菌だって。今、寝ているわ。」と、母。母のサポートは本当にありがたい。その後、私が仕事を終わらせるまで子供をケアしてくれた。仕事の後、私は子供たちを迎えに行き、寝かせた後、今、本原稿を書き始めている。このような家族の理解とサポートがあってこそ、現在の私があると、心から感謝している。

こんな親なので、私がお家にいないこと、学校行事にあまり参加できないことで子供たちを傷つけ、悩ませてしまったこともあった。また、子供たちの成長につれて、次々と出てくる新しい問題をなかなか解決できないこともあった。私が仕事を続けてもよいのか、迷ったこともあった。私は、そのたびに、家族で会話をする時間を大切に、そのときに最善だと思う方法を一緒に考えて選ぶようにしている。今は、何が正解かわからないことも多々あるが、私は家族と、誰かが壁にぶつかったとき、その人を理解し、乗り越えられることを信じて、サポートし合える関係でありたいと思っている。

仕事においては、私が所属している研究所 FIBER では、2023年度まで FIBER 第II期プロジェクトという甲南学園におけるプロジェクトに支援を受け、研究を推進してきた。FIBER には、所長・教授杉本直己先生と、准教授遠藤玉樹先生、准教授高橋俊太郎先生、私の4名の教員と博士研究員、実験補助員が所属していた (2023年末時点)。FIBER 第II期プロジェクトでは、杉本先生のととても強靱なリーダーシップの下、FIBER の運営が円滑に行われてきたが、FIBER 第II期プロジェクト完了を機に杉本先生が退職された (現職は甲南大学特別客員教授)。

2024年度からは、甲南新世紀戦略研究プロジェクトという学内の公募制のプロジェクトに FIBER として採択され、私たちが中心となって研究および教育活動を推進することになった。新年度開始から、FIBER の研究スペースの調整、予算の調整、人員体制の調整が始まり、私自身がこれまで物事を短期的な目線でしか考えていなかったことを痛感した。Big Boss の下、恵まれた環境を準備してもらっただけで、自分自身ではまだ何もできていなかったことに改めて気が付き、FIBER における活動への考え方が大きく変化した (厳しい現状を受け入れるため、変化しなくてはならなかった)。しかしながら、現在も FIBER としての活動を一緒に運営する同志がおり、杉本先生もプロジェクトをサポートしてくれる体制にある。また、大変ありがたいことに、共同研究をしてくれる先生方が増え、研究ネットワークも順調に広がってきている。私たち次第で、まだまだ飛躍できるはずである。本プロジェクトの期間は4年であるが、4年後からその先に、FIBER にかかわっている研究者がそれぞれ活躍できるようプロジェクトに邁進したい。

仕事でも私事でも、壁におつかることがある。そのときに、試行錯誤しながらでも、必ず私たちなら乗り越えられると信じられるチーム創りが重要であると思う。大きな力で壁を壊すことができなくても、登ってしまえば、乗り越えることができる。まだ今は、できないことが多いが、大きな目標をもって、お互いの尊厳を保ちサポートできる環境で、Climbers となって進もうと思う。